

## 五福地区技術部報告集の刊行に寄せて

富山大学 五福地区技術部長 小 熊 規 泰

令和2年度「五福地区技術部報告集」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。日頃は富山大学五福地区技術部の活動に対してご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年度まで“技術報告集”と題しておりましたが、本年度より掲題の誌名とさせていただきます。

内閣府が掲げる第5期科学技術基本計画において、「IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細かくに対応したモノやサービスを提供」する経済発展と社会的課題の解決を両立していく目指すべき未来社会の姿として提唱されました。いわゆる Society5.0 への変革であります。近年のデジタル技術の急速な進歩によって新たな価値が次々と創出されています。このような変革はデジタルトランスフォーメーション DX と呼ばれ、前述した IoT (Internet of Things)、AI (Artificial Intelligence)、AR (Augmented Reality)、VR (Virtual Reality)、CC (Cognitive Computing) など様々なデジタル技術が駆使されています。

多くの企業がこれからの人材に期待するスキルの一つにデジタル技術を挙げているアンケート報告があります。特に昨今の COVID-19 の感染拡大防止対策の一つとしてテレワークの急速な挿入が推進されています。サテライトオフィス勤務・モバイル勤務・在宅勤務などの働く環境は以前から構築されていましたが、扱うデータ（通信アプリケーション）の大幅な利便性向上がますます働き方改革に拍車をかけるものと予想されます。同じオンラインで行われる会議を例に挙げても、設置されている場所に数人が集まって行う TV 会議に対して、一人～数人で参加可能な Web 会議が主流となっていることはご存じのとおりです。

大学においても今年度前期授業はゴールデンウィーク明けにオンラインでの開始となり、教員の絶え間ない努力によりデジタルコンテンツの改良がなされ、なんとかコロナ禍の初期対応はこなせたように思います。このような時代において、技術職員におかれましてもデジタル技術の習得に努め、様々なコンテンツに対応できるようレベルアップを図っていただいております。そして、組織や制度に縛られることなく、様々な技術の融合や新たな技術の創出を志向した取り組みに励んでいただきたいと存じます。上記のデジタル技術を利活用することで職員の持つ高度なスキルを学生のみならず地域へも伝承・還元していく機会を増やし、その発信に努めていただきたく切望いたしております。

末筆になりましたが、この技術部報告集は技術部における技術職員の1年間の技術の結集です。本技術部報告集をご高覧いただき、技術の共有や教育及び研究のご参考となれば幸甚でございます。今後とも五福地区技術部の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。